◎髙 橋 議 員

1. 中学校部活動の「地域移行」について

公立中学校の部活動の指導を、教員以外の地域の住民や団体などに委ねる「地域移行」の取組みが次年度から本格的に始まろうとしています。

教員の負担を減らし、学校だけではなく町と町民も関わって、生徒たちが求める部活動を地域ぐるみで存続させようという良い施策の一方、過疎地の市町村では担い手・指導者の確保や責任の所在に課題が多いという話も聞いており、この町も同様の課題があるのではとの考えから、今後の「地域移行」の取組みをどのように考えているのか伺います。

2. 町外進学者におけるUターン希望者等への支援について

佐呂間中学校の生徒の中には、自分の夢を叶えるため、目指す職業のためなど様々な理由で町外の高校に進学し、生まれ育った町だから、家業を継ぐためなど、様々な理由で町に戻って来て就労しようと考えている生徒がいるのではと思われます。

佐呂間高校生徒への数々の手厚い支援はもちろん必要ですが、町外の高校、 そしてその上の学校に進学し、この町に戻ってくる方々への支援こそ、移住定 住・人口減少対策にもつながるのではとの考えから、町外に進学し佐呂間町に 戻って来て、この町に住んで働く方々への支援策としてどのような考えをお 持ちなのか伺います。

3. 谷川新教育長による今後の学校教育に対する考えについて

谷川新教育長が就任して2ヶ月が経ちました。

学校教育に対する施策として、どの自治体も行っている策もあれば、佐呂間町という地域性に特化した独自の施策もあるかと思われますが、これからの谷川教育長の佐呂間町による佐呂間っ子への教育方針として、どのような考えをお持ちなのか伺います。

<u>◎三 田 議 員</u>

1. 抗原検査キット等の町民への配布について

現在、本町もまだまだ感染者が後を絶たず、保育所が落ち着いたと思った ら小学校も学年閉鎖をするなど、収束には時間を要すると考えます。

一般家庭や小規模企業では検査キットの入手が困難な状況であり、町民の不安を払拭するため、本町でも一定の条件の中で配布を検討する考えはあるのか伺います。

2. 町の公園等の今後の整備について

児童館の横の公園を整備し、新しくなった遊具で毎日沢山の子ども達が遊び、休日にも親子で楽しそうに遊んでいる姿を見かけると、外での遊びは必要不可欠であり、町民の憩いの場の重要性を感じます。

総合公園、小公園や交通公園なども、子ども達が集うだけの役割ではなく 様々な世代が利用できるように考えていくべきと考えます。

オートキャンプ場など、町民だけではなく町外へも佐呂間町の魅力として 公園などを整備し、町に足を運んでいただけるような今後の展望についての 考えを伺います。

◎土 田 議 員

1. 原材料値上げに係る酪農・畜産業経営安定化対策について

物価高騰の中にあって、町内の酪農・畜産農家も飼料高騰や、売却する牛の価格急落、生乳減産による経営悪化が進む中、10月に決定した酪農・畜産経営安定対策給付金で乗り越えることができるのか。師走を目前にして経営縮小などの不安に悩む農業者の出ないよう、更なる対策が必要になるのではと考え、町長に酪農・畜産経営の安定化に向けた取り組みについてお伺いします。

◎面 議 員

1. ウイズコロナについて

本町においても、未だに収束が見えない新型コロナウイルス感染症ですが、 国では新たな行動制限を行わず、重症化リスクのある高齢者等を守ることに 重点を置き、感染拡大防止と社会経済活動の両立を図る方針を打ち出し、現在 ではコロナと共存する「ウイズコロナ」としてどの自治体も感染対策を講じて いますが、本町における今後の感染対策について伺います。

2. 佐呂間町の観光振興について

本町では今年度から地域おこし協力隊を配置し、町の観光振興に大いに活動されていますが、これまでの活動報告等も含め、町としての今後の観光振興策について伺います。

また、本年第2回定例会にて「ルートイングランティアサロマ湖」の状況 について答弁がありましたが、その後の現況について伺います。

◎但 木 議 員

1. 長引く物価高騰への対策について

ロシアのウクライナ侵攻から間もなく10ヶ月になろうとしています。

その後に起こった物価高騰は今も続いており、10 月末まで2万品以上が値上がりし、更に追い打ちを掛ける円安を要因とする値上げが既に2千品を超え、来年2月から3月をピークに値上げラッシュが再来する可能性が高いと指摘されています。

町も地方創生臨時交付金を活用して対策を講じていますが、物価高騰が長引く状況が予測される中、今後もより支援が求められると考えます。

町独自の支援策も含め、今後の対策についてお伺いします。

◎小 松 議 員

- 1. 令和5年度一般会計及び特別会計の予算編成概要について
 - ① 令和5年度一般会計、特別会計の予算編成については、まだこの時期では 地方交付税の見通しが立たない中ではありますが、基金残高や町債の状況 を含め、本町における新年度予算編成概要見込みについて伺います。
 - ② 町の指標となる自主財源については、若干なりとも増額的な状況となるのではと予想されますが、いかがな状況であるか伺います。
 - ③ 令和5年度予算事業の編成上においての思いを込めた言葉(予算タイトル)を付けるとするならば、どのような予算計画案とするか伺います。